

第408回 東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 平成25年3月13日(水) 10:00～11:15

場 所 総合図書館3階 大会議室

出席者 <委員長> 古田元夫 <副委員長> 根本 彰 <委員> 久保文明、大江和彦、
田畑 仁、吉澤誠一郎(代)、土居 守、本間正義、伊藤正直、橋本毅彦、八代田英樹(代)、
松本 眞、月橋文孝、今井 浩、橋元良明、山梨裕司、栗田 敬、真鍋祐子、大湾秀雄、
畑中研一、保谷 徹、白髭克彦、川崎雅裕、小森文夫(代)、安田一郎、菅原 琢(代)

※(代)は代理出席者

<オブザーバー> 酒井哲哉、大和裕之、中川裕志(代)、堀 浩一

欠席者 石田英敬

列席者 田中成直、高橋 努、木下 聡、北村照夫、風巻利夫、増田晃一、茂出木理子、福井明美、
吉田左貴子、大澤正男、三浦圭子、藤本蒂子、野口真理子、濱田すみ子、森田美由紀、
本多 玄、久保田壮活、高橋 隆、村上晋司、坪 陽子、金藤伴成、山崎裕子、
大澤類里佐

配付資料

1. 第407回図書行政商議会議事要旨
- 2-1. 平成24年度新図書館構想推進体制
- 2-2. 新図書館計画推進のための事務体制案(平成25年度)
- 2-3. 東京大学新図書館計画推進室規則
- 3-1. 平成25年度大型コレクション選定結果一覧
- 3-2. SCOAP³の動向について
- 3-3. 東京大学におけるSCOAP³対象誌購読状況およびSCOAP³への拠出見込額
- 4-1. 図書館前広場の撤去工事計画
- 4-2. 東京大学総合図書館アカデミックコモンズ計画
5. 平成24年度第3回附属図書館サービス特別委員会議事次第
6. 第26回駒場図書館運営委員会議事次第
7. 文化審議会答申(平成25年2月27日)
8. 平成25年度図書行政商議会日程

参考資料

1. 東京大学附属図書館研究開発室規則
2. 平成24年度附属図書館研究開発室員名簿

<開 会>

- ・古田委員長の主宰のもとに開会した。
- ・古田委員長から代理出席者の紹介があった。

＜議 事＞

1. 前回議事要旨の確定

古田委員長から、第407回議事要旨を資料1のとおり確定し、ホームページで公開した旨報告があった。

2. 協議事項

(1) 新図書館構想推進にかかる来年度の体制について

古田委員長から、資料2-1にもとづき来年度の新図書館構想の推進体制について、基本的な構図については平成24年度を継承したい、担当理事の交代や幹事会メンバー等の変更があるので新年度の図書行政商議会で改めて報告するとの説明があった。引き続き資料2-2、2-3にもとづき、幹事会、ステアリングコミッティーとともに新図書館構想の推進にあたるため、図書館のなかに石田副館長を室長とする新図書館計画推進室を館長裁定で設置したとの報告があり、了承された。

(2) 附属図書館における特任研究員の選考について

古田委員長から、新図書館構想推進の中でアジア研究図書館の起ち上げのための情報収集、電子図書館基盤整備のための具体的な作業等に博士課程の大学院学生ないしはポスドクに協力を依頼しているが、このたび附属図書館でも特任研究員の身分での雇用に道筋がついたことから、選考のための透明性のある仕組みとして、附属図書館研究開発室をあてたいとの提案があり、了承された。

(3) 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について

①大型コレクションの選定について

畑中サービス特別委員長から、各部局より推薦のあった中から資料3-1のとおり3点を選定したが第3位の資料については3点合計で3千万円を超えない場合に限り購入するという条件付きで提案があり、了承された。

②全学共通経費による SCOAP³への拠出について

畑中サービス特別委員長から、高エネルギー物理学分野の電子ジャーナル12誌をオープンアクセス化する国際プロジェクト SCOAP³に、全学共通経費をあてて東京大学として参加してはどうかとの提案があった。引き続き木下情報管理課長から資料3-2、3-3にもとづき、東京大学として全学共通経費から12誌の購読費として支払っている金額のうちの減額分を SCOAP³への拠出にあてるものであり、約6百万円と試算している。現在国公立大学（高エネルギー物理学関係の講座を持つ）約100大学のうち34大学が参加表明、未確定44大学、不参加19大学であること。東京大学も参加見込の表明をしており、共通経費からの拠出を認めてもらえれば次の段階に進めるとの説明があった。委員から、このプロジェクトを進めないと購読費を負担できず、電子ジャーナルにアクセスできない大学が増えてきてしまうので、是非これを進めるとよいとの高エネルギー物理学分野研究者の意見も紹介され、本提案は異議なく了承された。

3. 報告事項

(1) 新図書館構想の進捗について

古田委員長から資料4-1、4-2にもとづき、進捗状況について次のような報告があった。新図書館の建設工事の部分に関して平成25年度政府予算案の中に事項として盛り込まれ、政府予算

案通り成立すると本格的な着工の見通しが立つ段階になったこと。本格的な工事に先立って図書館前広場のピンコロ舗装、コンクリート舗装の撤去作業がすでに始まったこと。4月中には噴水の撤去に工事が進む予定であること。予算成立後は、埋蔵文化財調査を始めて、来年の年初めくらいから本格的な工事を開始したいと考えていること。現段階では新館と本館をつないで往来できるような構造で構想を進めていること。工法としてはニューマチックケーソン工法を採用することを予定していること。新館1階のライブラリープラザは円形状にスペース配置することで検討を進めていること。諸状況を鑑みて本館改修の概算要求を早めに出す可能性があること。また、今後の進捗状況については図書行政商議会で適宜報告し、重要な事項については審議していただきたいとの発言があった。

(2) 附属図書館サービ特別委員会報告

畑中サービス特別委員長から、協議事項で取り上げなかった案件として、資料5にもとづき全学共通経費（第2期）で整備する学術雑誌（冊子）及び電子ジャーナルの平成26年度の見直しの要否についての報告があり、木下情報管理課長から全学共通経費の財務状況及び今後について次のような説明があった。平成24年度からの第2期4年間の計画では、前半の2年間で余裕をもたせ、後半の2年間の値上がり分に補填するということで、現状は計画通りに進んでいるが、為替相場が1ドル105円を超えると余裕分が消えてしまう状況であることを前提にサービス特別委員会で検討したとの説明があった。それを受けて畑中サービス特別委員長から、サービス特別委員会としては緊急に購読を要する雑誌等が生じた場合は別途検討するが、全学共通経費による新規純増タイトルの募集は行わない方向で検討することになったとの報告があり、了承された。

引き続き畑中サービス特別委員長から共同利用図書費で購入している資料検索システムの移行について、現システムから新システムへの移行により、機能の向上と契約額の節約が見込めることから、移行を認めたとの報告があった。

(3) 駒場図書館運営委員会報告

酒井駒場図書館長から資料6にもとづき次のような報告があった。平成25年1月より駒場図書館正面玄関に古本募金ステーションを設置したこと。東京大学OPACに駒場図書館「書架ナビシステム」機能を追加したこと。駒場図書館、総合文化研究科図書館の利用規則について、文言の統一や、現状の運用に適合するよう改正したこと。利用者アンケートで図書館内の静ひつな環境を保持してほしいとの意見が多かったことを受けて、閲覧室のPC禁止席を64席から112席に拡大し平成25年1月から実施したこと。古田委員長から、PCキーボードの問題は総合図書館の改修にあたっても気を付けたいと思っているとの発言があった。

(4) 東京大学史関係資料の重要文化財指定について

北村情報サービス課長から資料7にもとづき、大学史史料室及び総合図書館に保管している江戸末、明治初期の東京大学が創設される経緯に関する資料1093点が一体の資料として指定されたとの報告があった。

4. その他

- ・古田委員長から資料8にもとづき、平成25年度の図書行政商議会の開催日程が示された。
- ・委員から4月1日から改正になる学位規則の改正に関しての情報等があれば教えていただきたい

との質問があり、古田委員長から本学では現在情報基盤課、附属図書館、学務課で検討を開始したところであり、具体的な対応策まで議論は至っておらず、状況を踏まえて改めて図書行政商議会に報告させていただく旨の回答があった。

- ・古田委員長から今年度で交代される委員の方へ全学の図書行政、部局の図書行政への尽力に対して謝辞が述べられた。

〈閉 会〉